

第2回 広小路こころの健康講話

令和4年10月1日（土）13時30分より小路診療所3階において「第2回こころの健康講話」を実施致しました。

当日は、正光会宇和島病院の山口皓平先生（臨床心理士・公認心理師）を講師に、「わかっているのにやめられない・・・強迫性障害」と題して講演を行い、15名の当事者・当事者のご家族・保健所職員が参加されました。

講演では、約10年前に山口先生が出会った強迫性障害患者とのカウンセリング、治療、終診にいたるまでの過程をご紹介頂き、その対応の難しさについてお話下さいました。

また、疾病の疫学や症状の種類、治療方法（曝露反応妨害法）、再発予防に至るまで詳しくお話し頂き、参加者は興味深く聴き入っている様子でした。その後の質疑応答の時間では、「性格と病気の因果関係があるのか」、「家族としてどう関わっていけば良いのか」など参加者から多数の質問が飛び交っておりました。

第2部では、強迫性障害を抱えながらも社会復帰された方や、当事者のご家族から体験をお話し頂きました。その後の座談会において、参加者の方々の病気への思いや経験、これまでの過程について話し合う機会を設けました。参加者からは「勉強になった」、「治療の方法について詳しく知るいい機会になった」などのご意見が寄せられました。

来年度もテーマ・内容を変えて開催する予定としておりますので、またのご参加をお待ちしております。

